

消費者モニター 活動報告

第42回 消費者モニター会議

2010年2月26日、“食のサポーター”による消費者モニター会議を開催しました。

今回は、第7期の最終回にあたるため皆さんと昼食をとりながら歓談を行い、最後にこの1年間を振り返っていただきました。工場見学や「食の安全・安心」についての学習会、ウインナーの食べ比べ、商品開発のアイデア発掘、そしてレシピ開発とさまざまなことにチャレンジしていただきました。また、霧島黒豚をはじめ取扱商品の試食を行いました。6回の中に盛り沢山のメニューで皆さまにとっては大変な1年間だったことと思います。

1年間貴重なご意見やアイデアありがとうございました。

《会議風景》

橋本社長の挨拶

「1年間、貴重なご意見をいただき
ありがとうございました。」



記念に「はい、チーズ」

《サポーターの方々のコメント》

- ・ 美味しい安全な食材に触れ、それについて学び、身近に生かすことができるなんて、すばらしいモニターシステムだった。
- ・ モニターとして微力ではあったが、地元を代表する企業を応援する一消費者の立場として活動できた。モニターに選ばれ感謝している。
- ・ 身近な食のあり方をおして、今まで見向きもしなかった体験・経験をすることができ、本当の意味での男女共同参画社会の実現を強く感じた。
- ・ 昔からあった大きな企業だが、身近なイメージもなく「別に」といったところ

だったが、モニターとして工場見学や会社の概要も聞き、“食の安全・安心”に徹底的にこだわり、かつ美味しさを追求しているのに驚き感服した。

- ・モニターとして微力ではあったが、地元を代表する企業を応援する一消費者の立場として活動できた。モニターに選ばれ感謝している。
- ・会議では、食に関して興味を持っている方々との意見交換がとても参考になった。また、毎回いろいろな形で会議の進行がなされ、クイズあり、試食会ありと大変楽しく、時間もあっという間に過ぎたような気がする。
- ・「モニター」とは、企業に対して、商品やサービスに対する評価をする、いわゆるアウトプットの仕事だと思っていたが、林兼産業㈱のモニターはインプットされる局面が多く、大変いい勉強になった。
- ・食物は奥が深いが、ほんの少しでも勉強することができ主婦として自信をもつことができた。年をとると勉強することが少なくなるが、反対に勉強することが楽しいことにもなる。そういう場を得られ感謝でいっぱいだ。
- ・「食」について考える機会を得、「食」の大切さや楽しさを改めて実感した。
- ・初めての林兼産業㈱モニターとして委嘱状を受けたときは、緊張していた。1年間に6回のモニター会議は大変楽しかった、良かった、の連続で、あっという間に終了してセンチメンタルな気分だ。温かな林兼産業㈱の方々とモニターメンバーに恵まれたと思う。レポートはまるでラブレターを書くようだった。
- ・私は主婦なので、学んだことは主婦仲間や友人に話のタネとして広がっていくことだろう。家では食べなれたもの、お母さんが使っていた食品として子供たちに信用される林兼ブランドとなるだろう。
- ・これからは、林兼サポーターになる。なので、これからも頑固なまでに自然な美味しい、愛される信頼の会社として発展して歴史を作っていくって欲しい。
- ・食品業界というのは時代と共に新しい展開があり、大変な反面とてもやりがいのある分野だと思う。